

ツール 19：デルファイ法

このツールの目的

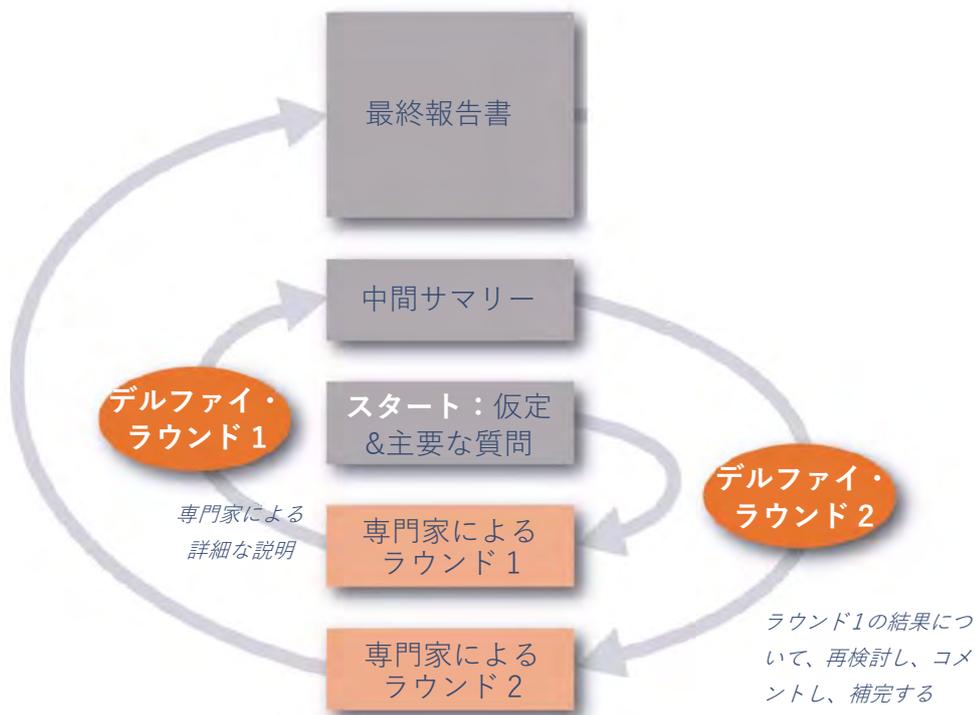
課題を深掘りすると共に明確化し、合意できる領域と合意できない領域を特定し、重要な問題について専門家間でのコンセンサス作りを図る。

このツールを使うタイミング

個別の課題を明確化するために、MSPの初期フェーズで使う。あるいは、考えられるオプションについての詳細な検討をベースとして、考え抜かれた意思決定を行うために、その後のフェーズで用いる。

デルファイ法とは

DalkeyおよびHelmer (1963) が主たる開発者であるデルファイ法は、特定のテーマについて、数名から成る専門家の意見を収斂させるための手法である。この手法は、グループのコミュニケーションプロセスとして設計されており、その目的は、特定の問題についての詳細な検討と議論を行い、それを目標策定や政策的介入、将来発生する出来事の予測などへのインプットとすることにある (C. Hsu他 (2007))。そのため、このツールはMSPの初期フェーズで有用なものとなり得る。あるいは、より後期のフェーズで意思決定を行う必要がある際にも役立つ。



出典：www.fruitzicht.com/de-delphi-methode-en-uw-visie-op-de-toekomst/

デルファイ法 – ステップ・バイ・ステップ

ステップ1：ファシリテーターの特定：最初のステップは、ファシリテーターを選ぶことである。読者自身がこの役を引き受けたい場合もあるだろうし、MSP内で「中立的な」メンバーを選びたい場合もあるだろう。可能な限り研究やデータ収集について知識のあるメンバーを選ぶようにする。

ステップ2：専門家の特定：デルファイ法は、深掘りすべき課題について議論を行う数名から成る専門家に依拠するものだ。ここでの専門家とは、当該の問題についての知識のあるMSP内のステークホルダーグループでもよい。

ステップ3：問題の定義：理解しようとしている問題や課題とは？自分たちが意見を述べようとしていることについて、専門家が明確に理解している必要があるため、必ずその問題についての明瞭かつ包括的な定義を提供するようにすること。

ステップ4：専門家によるラウンド1：今後のイベントについての専門家の意見全般を理解するため、一般的な質問を投げかける。この質問は、質問票またはサーベイのような形で行うことができる。

ステップ5：デルファイ・ラウンド1：無関係な内容はすべて除いた回答を照合し、概要をまとめ、意見の共通項を探す。重要な回答から、そのテーマについてより深く掘り下げ、具体的な課題を明確化するための新たな質問を作る。ここでできた質問を、再度質問票やサーベイという形で送ることもできる。専門家は、質問について詳細に答え、必要に応じて明確化を図る。

ステップ6：中間サマリー：ラウンド1の結果を基に、明確化すべき問題についての専門家の初回の回答と考察についての中間サマリーを作成する。

ステップ7：デルファイ・ラウンド2：ラウンド1の結果について、再検討し、コメントし、補完する。このプロセスに基づき、最後に行う一連の質問を考える。最後の質問票は、意思決定に役立つものとなることを重視する。合意できる領域を精緻化する。専門家が合意しているのは、どのようなことについてだろうか？

ステップ8：専門家によるラウンド2：専門家パネルは、最後の一連の質問に回答する。

ステップ9：結果を踏まえた取り組み&最終報告書：質問の最終ラウンドの後、望むらくは、専門家パネルは合意に達しているはずだ。結果を分析し、将来的なリスクやプロジェクトにとっての機会に対処するための計画を策定する。

必要に応じ、より確固たる合意に達するよう、質問をもう1ラウンド行うことも可能。

このツールは、ワークショップの形で実施することもできるが、多くの場合、Eメールを使って行われる。

さらに知りたい方は：

C. Hsu, B. A. Sanford (2007). The Delphi Technique: Making sense of consensus. Practical assessment, Research and Evaluation Vol. 12 nr. 10.

Dalkey, Norman and Olaf Helmer (1963, April). An experimental application of the Delphi method to the user of experts. Management science, 9, 3, pp. 458-467.

(以下を参照：‘Delphi Technique, a step by step guide’ / www.projectsart.co.uk)